



租税教室（1月17日（木））

1月17日（木）の5校時に能代税務署よりお二人の職員の方がお見えになり、5年生・6年生を対象に「租税教室」を行っていただきました。

税金とその活用について、多くのことを教えていただきました。

コンピュータを使って、いろいろな資料を提示し、分かりやすく教えていただきました。

最初は、税金の種類についてのクイズでした。とても多くの種類の税金があることが分かりました。

そして、税金は必要か、そうではないかということについて、子どもたち一人一人が考え、発表しました。この課題に対しては5・6年生の子どもたちすべてが「税金は必要なもの」と考え、「学校にみんなが来ているのは税金があるからできることだ」とか「ゴミの処理や消防、災害が起きたときに対応できるのは、税金を使っているからだ。だから、税金は必要だ」というように、これまでの社会科の学習を活かして、しっかりと答えることができていました。税務署の職員の方々も大変感心しておりました。

次に、DVDを見て、「もし、税金がなくなったら社会はどうなるのか」について学び、税金が使われることで、今の自分たちの生活があることを理解していました。

学校一校建てるには、およそどれくらいのお金がかかるのかについてのクイズもしました。そうしたところ、1校あたり約13億円ということを教えていただきました。

そして、1億円とは、現金でどれくらいになるのかを、ケースに入った「みほん」のお金を見せていただき、一人一人の子どもがそれを持つ体験をしました。子どもたちからは「重い！机くらいの重さがある」「1億円ってすごいお金なんだ」という感想が聞かれました。

最後に能代市では、どんな事業にどれくらいのお金が使われるかを勉強して、租税教室は終わりました。最初から最後まで9名の高学年の子どもたちは、集中して学習をし、税金の大切さをしっかり学んでおりました。



【自分の考えを発表し合う子どもたち】



【1億円を持ってみました】

今年も除雪ボランティア，ありがとうございます。

1月17日（木），朝，雪が多く降りました。今年も，登校後すぐに子どもたちが除雪のお手伝いをしてくれました。大変ありがたいことです。子どもたちの頑張りに感謝しています。



鼓笛の練習，頑張っています。（1月29日（火））

6年生が卒業してしまうと，これまで，演奏することができていた鼓笛ができなくなってしまう。その前に，新しいパート編制にして，子どもによっては担当楽器を持ち替えて，新しい鼓笛隊をスタートしなくてはなりません。

そこで，先週より，昼休みの時間などを使って，練習に取り組み始めました。

29日（火）の昼休みも子どもたちは頑張っ練習しておりました。1年生から3年生までは鍵盤ハーモニカを1階の教室で，4年生から6年生までは音楽室で一生懸命練習しておりました。

上の学年の子どもが下の学年の子へ，一生懸命教えている姿がとても印象的でした。

特に6年生は，5年生への引き継ぎにリーダーシップを発揮していました。

新・鼓笛隊の保護者の皆様へのデビューは，2月28日のPTAの際になることと思います。どうぞお楽しみに！



【1年生から3年生までの練習・・・1年生も上手になりました。】



【上学年は音楽室で練習】



【みんなの力を一つにして，音楽のまとまりが出てきました。この調子で！】

学校評議委員会（1月29日（火））

1月29日（火）今年度最後の学校評議委員会が行われました。

5校時目，授業を参観していただきました。

評議員のお二人からは，「いつも見ることができない習字や音楽の授業を参観できてよかった」，「少人数であっても，きちんとした話合いがされていた。やり取りをしながら学習をしていた。」，「先生が出した問題に真剣に考えていた」，「下の学年は元気で，高学年は落ち着いていた」とお褒めの言葉をいただきました。

その後，校長室で今年度の学校評価について話し合いました。

話合いの中で各学年の子どもたちの成長の様子がたくさん語られました。朴瀬小学校の子どもたちが協力し合いながら，高め合っていることを確認することができました。

話合いで出されたことをこれからの学校運営に生かして，さらに「一歩前へ」進んでいきたいと考えております。学校評議員の皆様，ありがとうございました。



【学校評議員の方々による授業参観の様子です。習字や音楽の時間も参観していただきました。】